

「にげる」2月も終わってしまいました。そして、今年度も「さる」3月を残すのみです。しかし、そんな気ぜわしさを感じているのはもしかしたら大人だけ!? 子どもたちの日々は、いつものように平穏に流れているのかもしれませんが。今回は、心に残ったことばのいくつかを紹介します。

【心に残ったことば】



担任の先生が出張などでいない時、そのクラスには他の先生が入ります。

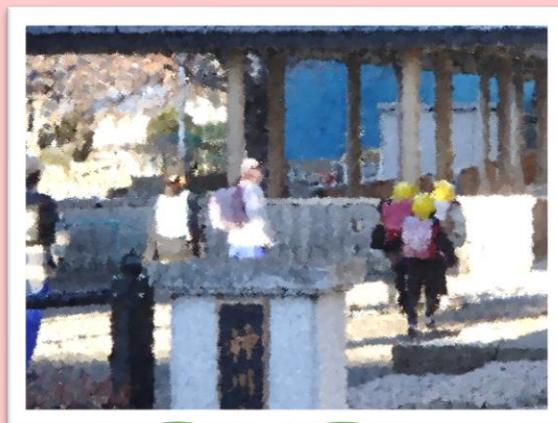
ある日、担任が1日いなかったクラスの子が私に向かって「**教頭先生は来てくれたのに、なんで校長先生は来てくれなかったの?**」

様々な大人の事情はあるのですが、気の利いた返しができない私でありました。ごめんね。

いつものように朝立っていると、いきなり「**校長先生、わたし、赤ちゃんのころ、丸々ふとっていたんだって**」

あまりにも不意を突かれたことばに思わず絶句の私。

その後、どうしてこの言葉になったのか…。朝、母親と、どんな会話が交わされていたのか…。なぞは深まるばかりの意味深いことばでありました。



(前回もごみについて書きましたが今回も1つ)

朝、ややゆっくりめの登校をするH君。拾ったごみを持ちながら一言

「**地球がよごれちゃうからね**」

なんてステキなことば。カッコいい。と心打たれていたら「ごみ捨てておいて」と私にごみを差し出します。

感動のあまり、受け取ってしまったわたし。やられました。

